

令和6年度 第2回 藤沢市立八松小学校 学校運営協議会議事録

開催日時 2024年7月18日（木）午前10時～12時

場 所 八松小学校 第2多目的室

出席委員等	植木 菊治（会長／辻堂地区民生委員） 瀧谷 典子（副会長／八松小学校校長） 山本 あや（本校在籍児童保護者） 吉田 秀樹（辻堂まちづくり会議 辻堂地区防災協議会） 若林 理恵（藤沢市社会福祉協議会 コミュニティ・ソーシャルワーカー） 小野 登紀子（明治地区民生委員児童委員） 猿渡 智香子（辻堂二葉幼稚園園長） 小林 美幸（明治地区民生委員児童委員協議会主任児童委員） 戸塚 渉（藤沢市生涯学習部 渉外学習総務課 明治公民館長） 森本 裕（八松小学校教頭） ----- 出席委員：10名（欠席委員：3名）
次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 学校の近況報告 4 議 題 （1）学校運営や子どもを取り巻く現状や課題の解決策について ① リソースルームでの取り組み報告と課題 ② 1学期の学習支援ボランティアの取り組み報告と課題 ③ 幼・小・中の指導の連続性と連携について ④ 防災対策の強化 （2）地域、諸団体等の活動内容の共有（各委員から） 5 その他 次回以降の会議日程 6 閉 会
協議内容	協議内容 4（1）学校運営や子どもを取り巻く現状や課題の解決策について ① リソースルーム（別室）での取り組み報告と課題 ・副会長 リソースルームを設置し、教室に入りづらい児童を週3日受け入れている。（学習指導員が担当）6月から月1回程度、学校で給食を食べる取り組みを始めた。6月と7月は、明治地区青少年指導員に協力していただいた。今後、リソースルームに来校する児童が多くなると、対応する職員の数が足りなくなる状況が見込まれる。（リソースルーム内での個別対応や、在籍学級から給食を運ぶ際に人手が必要。） ・委員 他の学校では、リソースルームのような教室をどのように使っているか。 ・副会長 学校の現状や児童のニーズによって、様々な運用をしている。方法は一つではない。

② 1学期の学習支援ボランティアの取り組み報告と課題

- ・ 副会長 5年生家庭科の裁縫の授業において、保護者にお手伝いをお願いした。おかげで、児童一人ひとりの作業をフォローすることができた。保護者からは、「普段の子どもたちの様子が見られて、貴重な機会になった。」という感想をいただいた。
校庭体育倉庫横の畑を、2年生のさつまいも畑として保護者の方に耕していただいた。職員だけでは、なかなか畑まで手が回らないので、大変ありがたい。
7月には、読み聞かせボランティアさんが低学年のクラスで読み聞かせをしてくれた。

- ・ 副会長 休み時間や掃除の時間、職員が目が行き届かない時にトラブルが起きやすい。そういうタイミングで大人の見守りが必要だ。
1学期は、学校周辺で不審者が多かった。市民センターには青色防犯パトロールをしていただいた。おはようボランティア、スクールガードリーダー、地域の交通安全対策協議会には登校時の見守り、PTAにも毎月初めに登下校時の見守りボランティア活動をしていただいているが、見守りのいない場所や時間帯に不審者が出ている。もっと多くの場所で大人に見守っていただけたら、抑止につながるので安心だ。

- ・ 委員 不登校児童の対応について、児童だけでなく保護者への支援も必要だ。行き詰まっている保護者をバックアップする体制があるとよい。
副会長から、見守る大人を増やしたいという話があったが、大人の見守りをどこまで手厚い状態にすればよいか迷う。見守りの大人がいるだけでは、子ども同士で育っていく力は育たない。どうすればいいのだろう。

- ・ 副会長 どういう見守りをするかが大切。いらいらしている子どもへは、温かい言葉かけ、親切な対応が必要。子どもたち同士の解決力を伸ばすことは大切。校内すべての場所、場面で見守りが必要ということではない。

- ・ 会長 大変貴重なご意見をいただいた。次回以降も、学校の課題について協議を続けていく。

以上

次回開催予定 2024年9月5日(木) 午前10時～

場 所 藤沢市立八松小学校 第2多目的室